

競技上・審判上の注意事項

1、競技上の注意

- ① 本大会は2026年度の公益財団法人「日本バドミントン協会」の定める競技規則及び大会運営規定、並びに公認審判員規定に基づいて競技を運営する。
- ② 試合はタイムテーブル1列目までは指定コート。2列目以降は流し込み方式で実施する。コールされてから5分以内にコートに入らない場合は「失格」とする可能性がある。
- ③ 各部、予選はリーグ戦を行い、決勝はトーナメント戦で順位を決定する。（3位決定戦も行う）男子1部はリーグ戦の結果を最終順位とする。
- ④ トスの後、試合を開始する前に、3分間以内の練習を認める。（但し初戦のみ）
- ⑤ プレイヤーが連続して試合をする場合、原則として10分間程度の空き時間を入れる。
- ⑥ 競技中の事故（ケガ）については、応急処置の手配は行うが、以後の責任は負わない。

2、審判上の注意

- ① リーグ戦は21点3ゲームマッチで行い、20点オールになった場合、最大30点まで延長ゲームを行う。決勝トーナメントは15点3ゲームマッチで行い、14点オールになった場合、最大21点まで延長ゲームを行う。尚、試合の進行状況により、大会本部の判断で点数の変更をすることがある。
- ② 先行するサイドが11点になった時60秒以内、ゲーム間に120秒以内のインターバルを認める。15点ゲームの場合は先行するサイドが8点になった時に60秒以内のインターバルを認める。
- ③ サービスの際、シャトル全体が床面から115cm以下でなければならない。
- ④ 審判員は、敗者が次の試合の主審と線審を、勝者がもう一人の線審を担当する。タイムテーブル1列目の試合の審判は、タイムテーブルの3列目の指定選手が担当する。主審は審判用紙に、勝者サイン・主審サイン・試合終了時刻を記入し、本部席に持参しチェックを受ける。
- ⑤ アドバイスはインターバル時のみとする。但しコートに入れるのは2名までとする。
- ⑥ 着衣は原則として公益財団法人「日本バドミントン協会」公認のゲームウェア着用を推奨するがバドミントンに適した服装でも可。
- ⑦ 試合中のシャトル交換は、主審が必要かどうかを決める。

3、体育館使用上の注意

- ① 大会関係者、出場選手、応援者含めて駐車場の利用は出来ません。
- ② 下駄箱は応援の方も含めて使用出来ません。靴袋等で各自保管する事。外履き・室内履きの区別を必ず行う事。
- ③ 会場内での個人的な写真撮影・ビデオ録画はご家庭や仲間の中でのみご鑑賞下さい。第三者が閲覧可能なインターネットやSNS等への掲載はご遠慮下さい。
- ④ アリーナ内の飲食は禁止です。アリーナ内ではキャップの出来る飲料のみ可とします。昼食は2階の会議室で行う。
- ⑤ 体育館施設は敷地内全館禁煙です。
- ⑥ ゴミは各自必ず持ち帰る事。
- ⑦ 身の回り品の管理には各自十分注意する事。万一事故があった場合、責任は負いかねます。
- ⑧ 大会結果等の記録写真はホームページに掲載公開されることがあります。

4、その他の注意

- ① マスクの着用は任意とします。
- ② 閉会式は行いません。入賞者は準備が出来次第表彰します。